

一般国道30号

(本州四国連絡道路(児島・坂出ルート))

(仮称)坂出北スマートインターチェンジ

実施計画書

<概要版>

平成29年7月

目 次

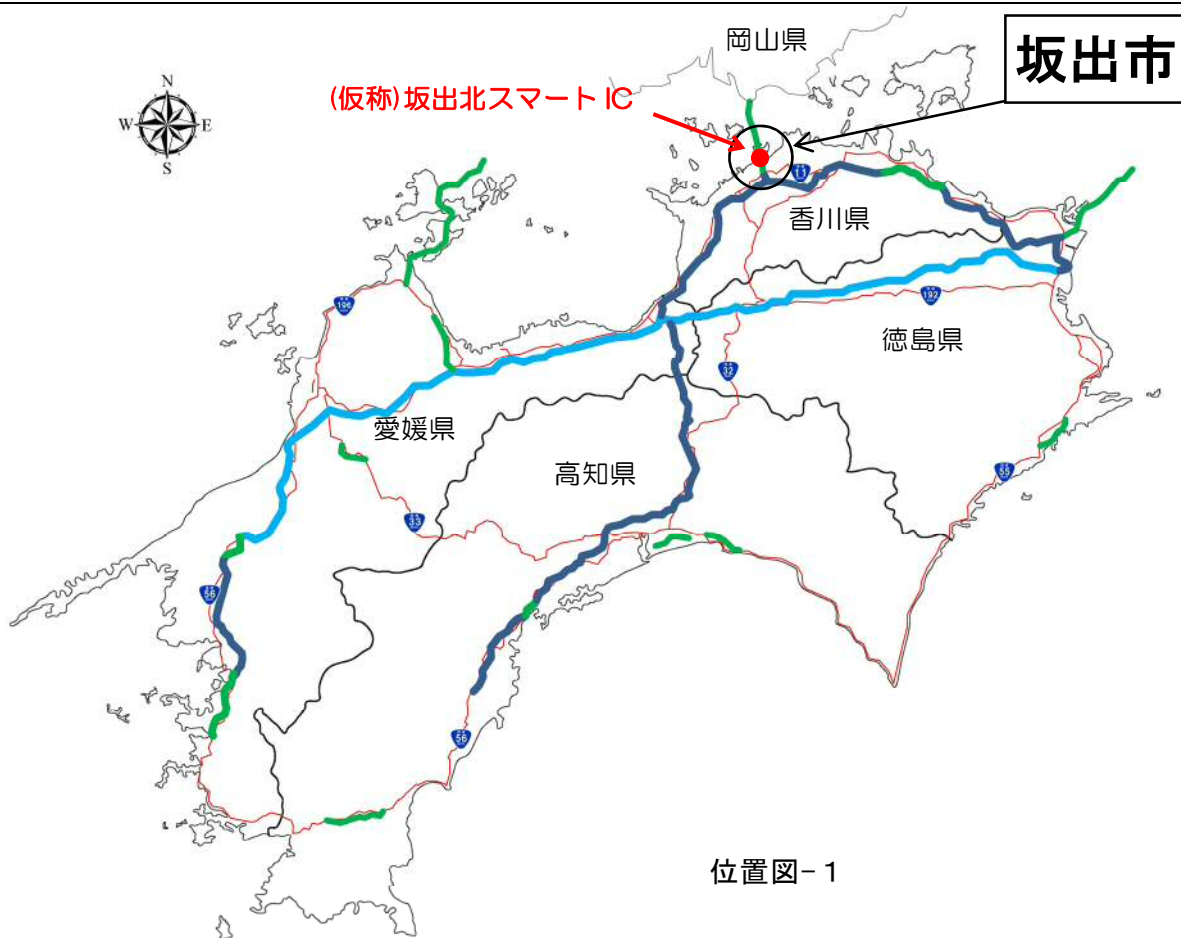
1. 路線名	1
2. 連結位置及び連結予定施設	1
3. 連結を必要とする理由	3
4. 計画交通量, 供用予定時期	5
5. 連結のために必要な工事に要する費用の概算額	5
6. 管理・運用形態	6
7. 管理・運営のために必要な費用の概算額	8
8. スマート IC の設置により期待される整備効果	9

1. 路線名

●一般国道の自動車専用道路	: 一般国道30号 (本州四国連絡道路(児島・坂出ルート)) の路線名 (瀬戸中央自動車道)
---------------	---

2. 連結位置及び連結予定施設

●インターチェンジ名	: (仮称) 坂出北スマートインターチェンジ
●連結位置	: (上り・下り) 香川県坂出市 <small>かがわけんさかいでし</small>
●連結予定施設	: (上り・下り) 県道瀬居坂出港線 <small>けんどうせいさかいでこうせん</small>



位置図-1

【連結位置の概要】

連結位置	香川県坂出市
統計資料	人口 : 53,164 人 世帯 : 21,361 世帯 面積 : 92.49 km ² (H27年10月1日 国勢調査)

凡 例	
	四国縦貫自動車道
	四国横断自動車道
	一般国道の自動車専用道路
	一般国道



3. 連結を必要とする理由

(1) (仮称)坂出北スマートインターチェンジ周辺地域の状況

(仮称)坂出北スマートインターチェンジ(以下、「(仮称)坂出北スマートIC」という。)は、瀬戸中央自動車道の坂出ICから北に約2.6kmに位置し、現在、供用中の坂出北IC(本州方面とのハーフIC)に設置を予定している。

当該スマートICの設置を予定している坂出市は、香川県のほぼ中央部に位置し、面積92.49k㎡、人口53,164人、21,361世帯(平成27年国勢調査)で、瀬戸中央自動車道における四国側の最初の都市として、本州と四国を結ぶ高速道路網に接続するとともに、重要港湾坂出港を擁するなど、陸海交通の結節拠点としての役割を担っている。

また、香川県下最大の工業地帯である番の州工業地帯は、電気、石油、LNGなどのエネルギー基地が集積し、四国のエネルギー拠点となっている。

坂出市は、人口減少が進行する中、先人たちが培ってきた素晴らしい地域資源や海陸交通の結節点としての拠点性を生かし、都市機能の充実・強化を図り、人口減少に歯止めをかけるとともに、活力と魅力ある「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち坂出」を目指したまちづくりを進めているところである。

(2) 連結を必要とする理由

坂出市には、瀬戸中央自動車道「坂出北IC」が設置されているものの、このICは本州側とのアクセスが可能なハーフICである。このため、四国側とのアクセスは、一般道路を経由して坂出ICを利用せざるを得ない状況であり、背後に臨海工業地帯や物流拠点を擁する坂出北ICは高速道路網の交通・流通面から利便性が低い状況にある。

(仮称)坂出北スマートICは、四国横断自動車道へのアクセス性を向上させるものである。

① 信頼性の高い物流ネットワークを形成

スマートICを整備することで、さぬき浜街道北側の臨海工業地帯に多く立地する物流施設並びに四国の暮らしと経済を支えるエネルギー拠点において、高速道路(四国方面)とのアクセス性が向上し、配送時間の短縮や時間信頼性の確保を図る。

② 「みなと」と「みち」の強い絆で企業進出

スマートICを整備することで、さぬき浜街道北側の臨海工業地帯等から高速道路へのアクセス性が向上し、重要港湾である坂出港周辺の交通結節点の機能が強化され、「みなと」と「みち」の連携で企業誘致を図る。

③ 速さとわかりやすさで観光集客アップ

スマートICを整備することで、瀬戸大橋記念館をはじめ、坂出北IC周辺に立地する観光施設へのアクセス時間の短縮とアクセスルートの分かりやすさにより、観光集客力の向上を図る。

④ 中・西讃地域の安心なくらしを提供

スマート IC を整備することで、坂出市内に立地する第二次救急医療機関への搬送時間が短縮され、救急搬送時間の定時性を確保することで、安定した救急医療活動が可能となる。

⑤ 地域を担うこどもにとって安全なまちに

スマート IC を整備することで、大型車の物流ルートが高速道路へ転換され、学校周辺の通過交通が減少することで、通学時の安全性が向上することが期待できる。

⑥ コンパクト+ネットワークで住みやすいまちへ

スマート IC を整備することで、多くの生活関連施設が集積する中心市街地を通過する交通が減少し、コンパクト+ネットワークで住みやすいまちの実現を図る。

⑦ 四国にとって大規模災害時の重要拠点に

スマート IC を整備することで、高速道路が南北軸として機能し、災害時は、海上輸送拠点となる坂出港から四国内陸部に供給する支援物資を早期に輸送することが可能となる。

⑧ 災害時にも早期復旧で安心なまちに

スマート IC を整備することで、浸水エリアを迂回しながら効率的な道路復旧が可能となり、早期に避難所への物資供給ができる。

上記①から⑧に示した（仮称）坂出北スマート IC 整備がもたらす効果により、坂出市が目指している活力と魅力ある「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち坂出」を実現するための取り組みが可能となる。

4. 計画交通量, 供用予定時期

① 計画交通量	: 800 台/日 (参考: 本州方面 4, 200 台/日)
② 供用予定時期	: 平成 36 年度 (目標)

※計画交通量は, 平成 42 年度の予測交通量

5. 連結のために必要な工事に要する費用の概算額

(税込)

連結のために必要な工事に要する費用の概算額	3 2. 3 億円
うち, 日本高速道路保有・債務返済機構	3 1. 0 億円
うち, 地方公共団体 (坂出市)	1. 3 億円

※工事に要する費用及び開通年から 50 年間の管理・運営のために必要な費用の合計 (現在価値化したもの) 2 7. 6 億円



6. 管理・運用形態

① 対象車種

- ・本州四国連絡高速道路株式会社の料金車種区分の全車種とする。

② 運用形態

- ・運用形態はフル IC とする。

③ 運用時間帯

- ・運用時間は 24 時間とする。

(1) 対象車種

既設の坂出北 IC を通行する車種を対象とすることから、対象車種は本州四国連絡高速道路株式会社の料金車種区分の全車種をサービスの対象とする。

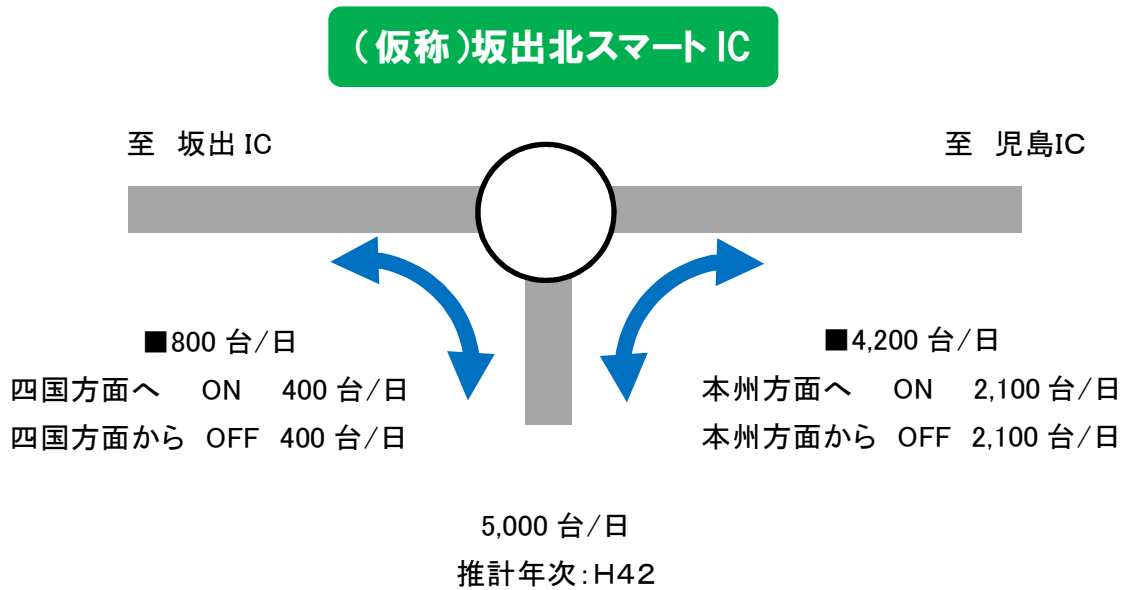
■ 本州四国連絡高速道路株式会社 料金車種区分

車種区分	自動車の種類
軽自動車等	<ul style="list-style-type: none"> ・軽自動車 ・二輪自動車（側車付きを含む）
普通車	<ul style="list-style-type: none"> ・小型自動車（二輪自動車及び側車付き二輪自動車を除く） ・普通乗用自動車 ・トレーラ（けん引軽自動車と被けん引自動車（1車軸）との連結車両）
中型車	<ul style="list-style-type: none"> ・普通貨物自動車（車両総重量8 t未滿かつ最大積載量5 t未滿で3車軸以下のもの及び被けん引自動車を連結していないセミトレーラ用トラクターで2車軸のもの） ・マイクロバス（乗車定員11人以上29人以下で車両総重量8 t未滿のもの） ・トレーラ（けん引軽自動車と被けん引自動車（2車軸以上）との連結車両及びけん引普通車と被けん引自動車（1車軸）との連結車両）
大型車	<ul style="list-style-type: none"> ・普通貨物自動車（車両総重量8 t以上又は最大積載量5 t以上で3車軸以下、及び車両総重量25 t以下（ただし、最遠軸距5.5 m未滿又は車長9 m未滿のものについては20 t以下、最遠軸距5.5 m以上7 m未滿で車長が9 m以上のもの及び最遠軸距が7 m以上で車長9 m以上11 m未滿のものについては22 t以下）かつ4車軸） ・バス（乗車定員30人以上又は車両総重量8 t以上の路線バス、及び車両総重量8 t以上で乗車定員29人以下かつ車長9 m未滿のもの） ・トレーラ（けん引普通車と被けん引自動車（2車軸以上）との連結車両、けん引中型車と被けん引自動車（1車軸）との連結車両及びけん引大型車（2車軸）と被けん引自動車（1車軸）との連結車両）
特大車	<ul style="list-style-type: none"> ・普通貨物自動車（4車軸以上で、大型車に区分される普通貨物自動車以外のもの） ・トレーラ（けん引中型車と被けん引自動車（2車軸以上）との連結車両、けん引大型車と被けん引自動車との連結車両で車軸数の合計が4車軸以上のもの及び特大車がけん引する連結車両） ・大型特殊自動車 ・バス（乗車定員30人以上のもの、または車両総重量8 t以上で車長9 m以上のもの（いずれも路線バスを除く））

(2) 運用形態

運用形態は、既設料金所を活用したフル IC とする。

- ・フル IC の利用交通量のうち、四国方向へ流入する交通量が 400 台/日、四国方向から流出する交通量が 400 台/日で合計 800 台/日と推測される。



(3) 運用時間帯

運用時間帯は、24時間運用とする。

7. 管理・運営のために必要な費用の概算額

●スマート IC の管理・運営のために必要な費用の概算額は下表のとおりである。

■本州四国連絡高速道路株式会社

項目	金額（百万円）（年額・税込）
維持管理費	3

※料金施設は既設施設を活用する。

※維持管理費は本州四国連絡高速道路株式会社提示資料による。

消費税率 8%

8. スマート IC の設置により期待される整備効果

(1) 【物流・エネルギー】信頼性の高い物流ネットワークを形成

物流施設は臨海工業地帯に多く立地し、特に坂出北 IC 周辺に集中している。また、坂出港沿岸部には、四国の暮らしと経済を支えるエネルギー拠点である石油やガス等の貯蔵や電力供給施設が立地している。

(仮称)坂出北スマート IC を利用することで、配送時間の短縮や時間信頼性が向上し、物流の効率化が促進されることが期待される。

(2) 【企業立地】「みなと」と「みち」の強い絆で企業進出

坂出港は香川県内に2つある重要港湾の1つであり、港湾の取扱貨物量は四国トップクラスで県内の港湾取扱貨物量の約7割を占有している。

(仮称)坂出北スマート IC を利用することで、10分以内で IC アクセス可能な企業・工場が大幅に増加し、坂出港と IC との所要時間も大幅に短縮することで、坂出港周辺の交通結節点としてのポテンシャルが向上することが期待される。

(3) 【観光】速さとわかりやすさで観光集客アップ

瀬戸大橋記念館の入館者数は約11万人/年で、近年増加傾向にあり、中でも外国人入館者数の伸びが著しく増加している。

(仮称)坂出北スマート IC を利用することで、観光施設とのアクセス時間が短縮し、アクセスルートのわかりやすさも向上するなど観光施設への立ち寄りが容易となり、集客が増加することが期待される。

(4) 【救急医療】中・西讃地域の安心な暮らしを提供

坂出北 IC 付近には、第二次救急医療機関の坂出市立病院と回生病院が立地しており、管外からも多くの救急患者を受け入れている。また、坂出市消防本部による救急搬送先は、2割が管外へ搬送している。

(仮称)坂出北スマート IC を利用することで、救急搬送時間が短縮され、また、救急搬送時間のバラつきが解消し、安定した救急医療活動が可能になることが期待される。

(5) 【通学】地域を担うこどもにとって安全なまちに

学校が集中する市街地において、多くの交通事故が発生しており、学校周辺の通学路でも大型車が多く走行するなど、通学時等において子供たちが危険にさらされている。

(仮称)坂出北スマート IC が整備されることで、学校周辺の通過交通等が減少し、通学時の安全性が向上することが期待される。

(6) 【定住人口】コンパクト+ネットワークで住みやすいまちへ

坂出市の将来人口は、今後減少すると推計されている中で、坂出市の中心市街地には、多くの生活関連施設が集積し、一部では人口が増加傾向にある。

(仮称)坂出北スマート IC が整備されることで、中心市街地を通過する交通が減少し、定住化やコンパクトなまちづくりが促進されることが期待される。

(7) 【防災】四国にとって大規模災害時の重要拠点に

坂出港周辺の緊急輸送道路は、東西軸は複数路線（さぬき浜街道、県道 33 号線、国道 11 号）指定されているが、南北軸は県道 19 号線のみである。また、坂出港は耐震強化岸壁の整備が完了しており、災害時の海上輸送拠点に位置付けられている。

(仮称)坂出北スマート IC が整備されることで、高速道路が南北軸として機能し、災害時は、坂出港から四国島内への早期の支援物資供給が可能になることが期待される。

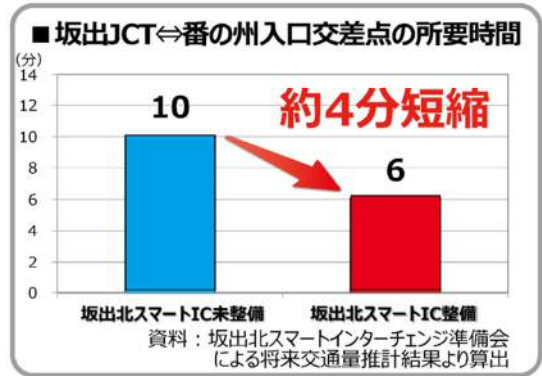
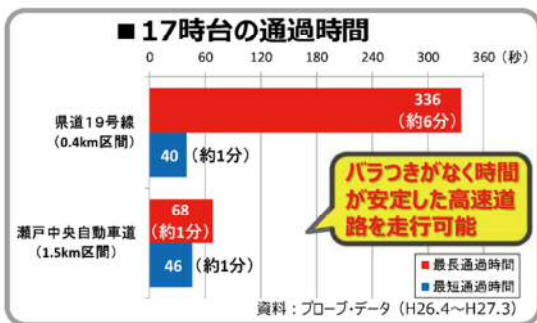
(8) 【防災】災害時にも早期復旧で安心なまちに

坂出市の市街地は津波浸水が想定されており、被災時は浸水エリア内の通行が困難な状況になる。

(仮称)坂出北スマート IC が整備されることで、瀬戸中央自動車道が迂回路となって効率的な道路復旧を助け、避難所への早期の物資供給が可能になることが期待される。

(1) 信頼性の高い物流ネットワークを形成

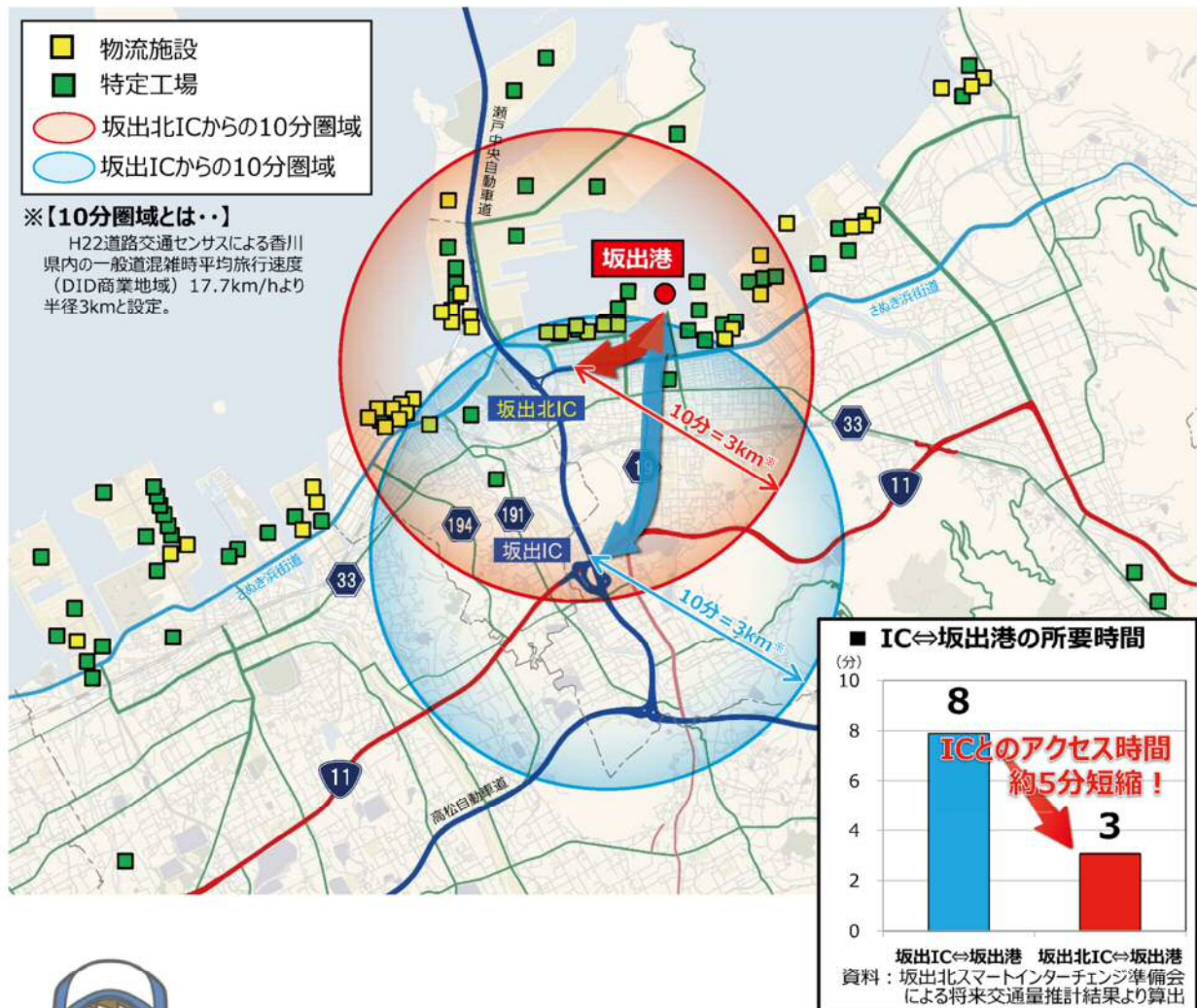
- 配送時間の短縮や時間信頼性が向上し、物流の効率化を促進



- 坂出北ICまでは5分くらいなので、スマートIC整備は有り難い。
- 危険物LPGを積んだローリーが市街地を走る心配があり、安全に運ぶことが使命である以上、坂出北ICから四国方面に乗れるのは有り難い。(坂出市内物流企業)

(2) 「みなと」と「みち」の強い絆で企業進出

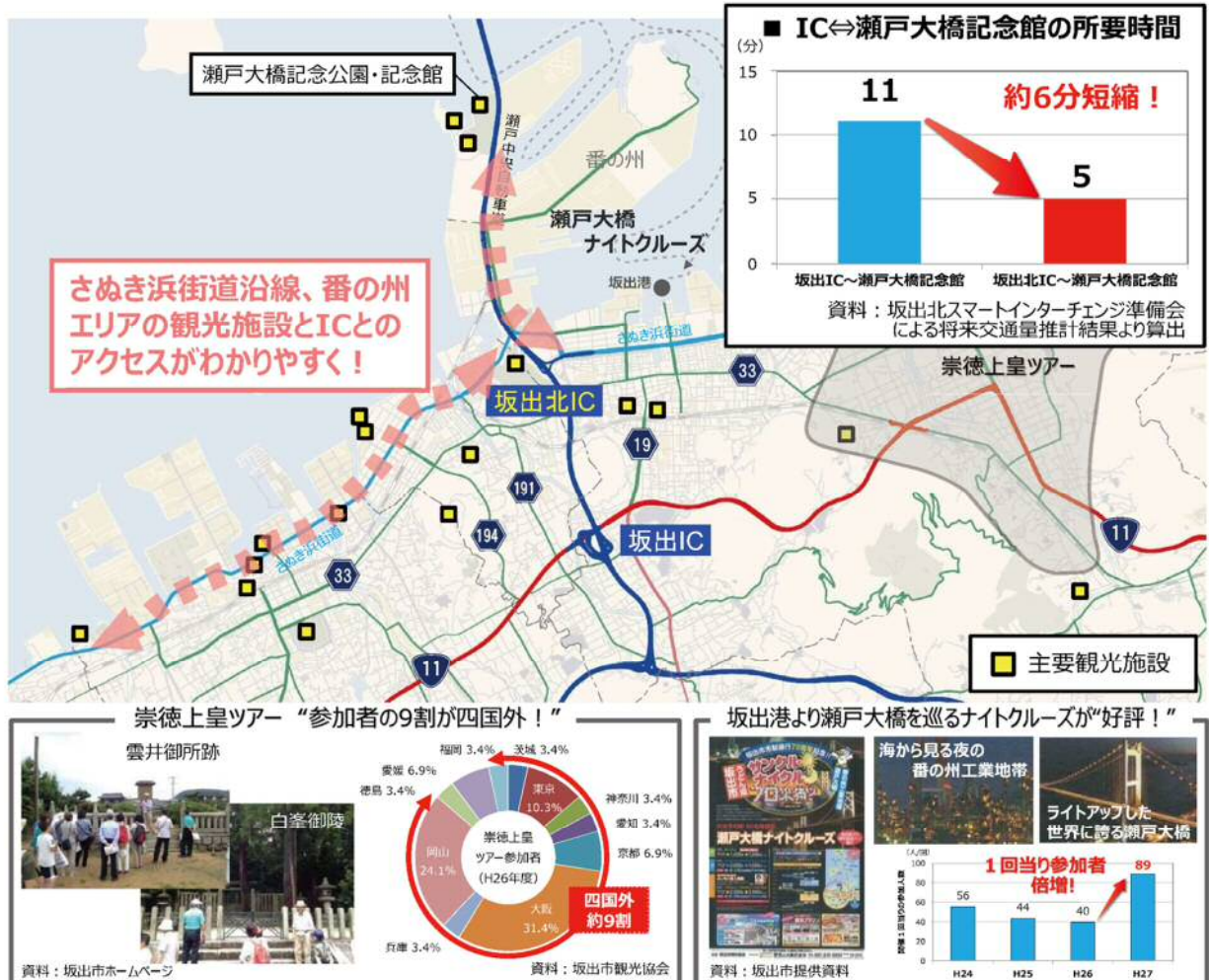
- 10分以内でICアクセス可能な企業・工場が大幅に増加し、坂出港とICとの所要時間も大幅に短縮することで、坂出港周辺の交通結節点としてのポテンシャルが向上



- **全国展開する飲食店企業は、沿道交通量をマーケティングの一指標としており、さぬき浜街道の交通量も増加すると予測し、さぬき浜街道沿線への出店も選択肢に。**
 (ディベロッパー企業)

(3) 速さとわかりやすさで観光集客アップ

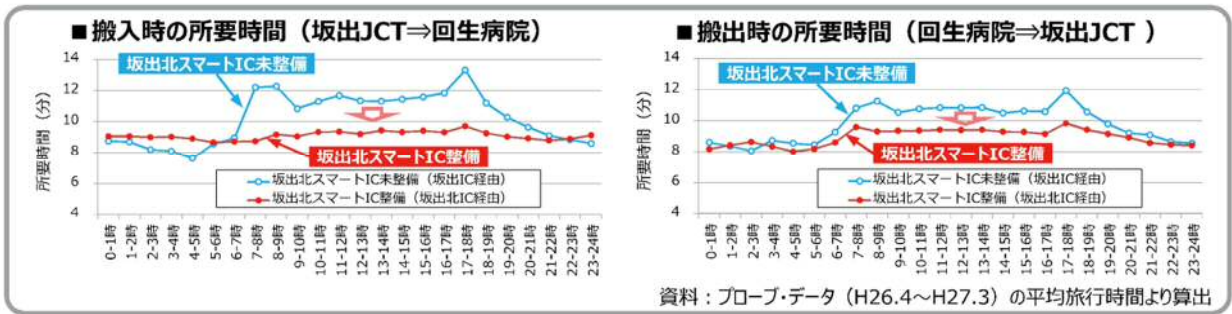
- 観光施設とのアクセス時間が短縮し、アクセスルートのわかりやすさも向上
- 観光施設への立ち寄りが容易となり、集客が増加



- **インターチェンジからのアクセスが容易**となり、瀬戸大橋記念館も**観光地**の一つとして利用しやすくなる。アクセスに対する問い合わせ対応も**容易**になる。
(瀬戸大橋記念館)
- 背後エリアに金毘羅があるので、**さめき浜街道からアクセス**してもらえるようになることは**観光面で非常にメリット**。
(丸亀市文化観光課)

(4) 中・西讃地域の安心なくらしを提供

- 救急搬送時間が短縮され、また、救急搬送時間のバラつきが解消し、安定した救急医療活動が可能



- 救急搬送における**所要時間の短縮**は、**患者の負担軽減**や**その後の治療の面でも非常にメリット**が大きい。特に、**心肺停止の患者**にとっては、**1分1秒でも早い方がよい**。
- **第三次救急へ搬出**する場合、坂出北ICから行けるようになると**非常に有難い**。(坂出市内二次医療機関)

(5) 地域を担うこどもにとって安全なまちに

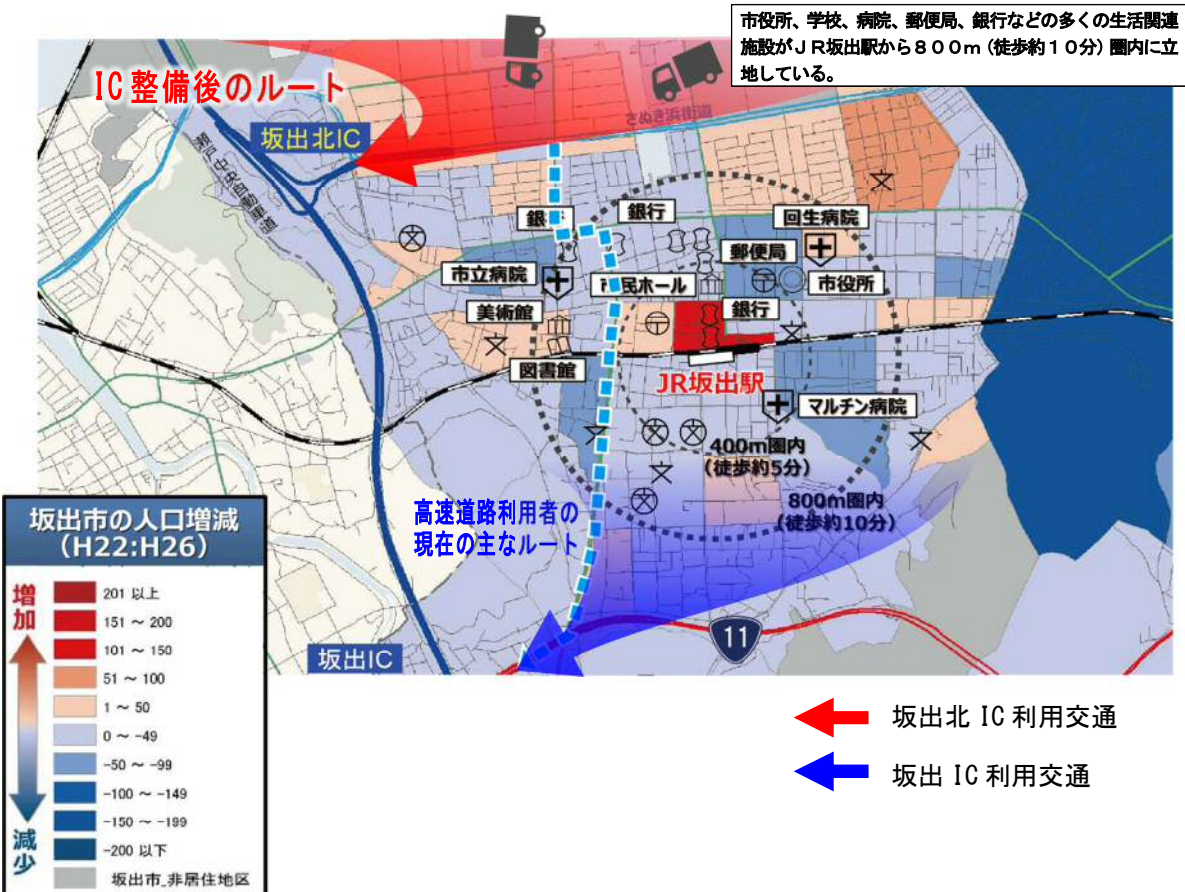
- 学校周辺の通過交通等が減少し、通学時の安全性が向上



- さぬき浜街道と坂出ICを連絡している県道19号線、県道33号線、県道191号線などの通学時の安全性が高まることを期待している。
(坂出小学校、宇多津小学校、宇多津中学校)

(6) コンパクト+ネットワークで住みやすいまちへ

- 多くの生活関連施設が集積する中心市街地を通過する交通が減少し、安全安心の向上とともに、定住化やコンパクトなまちづくりを促進



● 地域で価値を高める施策を考え、坂出市のイメージを向上するための「きっかけ」にしたい。
(坂出商工会議所)

(7) 四国にとって大規模災害時の重要拠点に

- 高速道路が南北軸として機能し、災害時は、坂出港から四国島内への早期の支援物資供給が可能

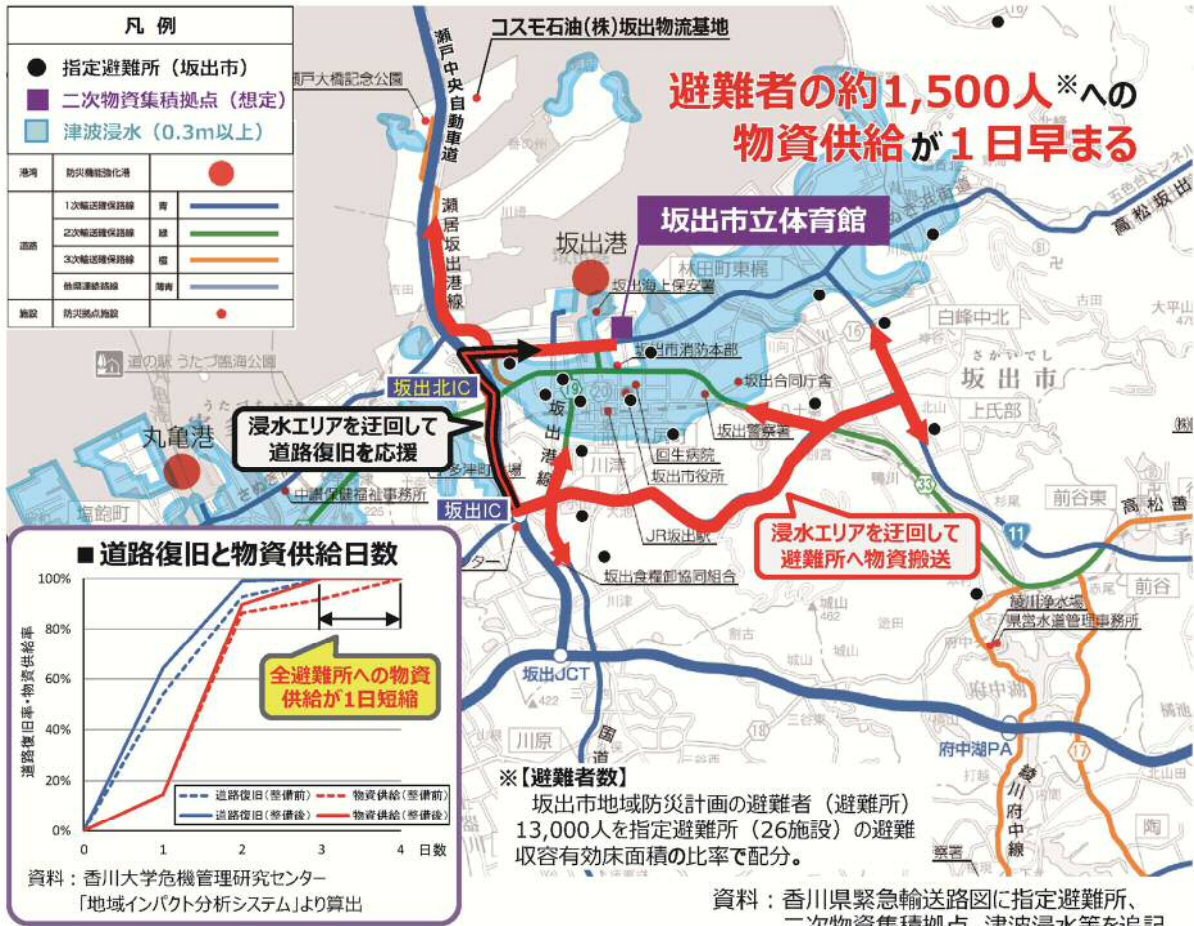


- 坂出港から高速道路(坂出北IC)へアクセスし易くなり、**四国方面への早期の物資供給が可能**となる。
- 現在、**コスモ石油(株)坂出物流基地**は精製を行っていないが製品を備蓄しており、**ローリーがあれば燃料供給が可能**なため、「**燃料**」の拠点にもなり得る。
(坂出市危機監理室)

(8) 災害時にも早期復旧で安心なまちに

- 瀬戸中央自動車が迂回路となって効率的な道路復旧を助け、避難所への早期の物資供給が可能

坂出市立体育館を二次物資集積拠点とした場合の物資供給



- 企業のBCPの観点からも**早期復旧が可能となることは非常に重要**で、企業の存続は**地域の雇用や市の財政にも大きく影響**する。
(坂出市危機監理室)